

女性放射線腫瘍医の 就労調査

順天堂大学放射線医学教室
齋藤アンネ優子

利益相反

- ✦ 日本女性放射線腫瘍医の会
- ✦ 2012年度研究助成

Gender difference

- ✦ 米国ではホットなテーマ
- ✦ R01-HL-101997 (2009-2013)
- ✦ Funding Amount:
→ \$865,587 (8500万円程度)
- ✦ Reshma Jagsi, MD
(Dep of Radonc, Univ. of Michigan)

法律：日米の違い

- ✦ 日本
 - ✦ 男女雇用機会均等法 (1986年) → 差別の禁止
- ✦ 米国
 - ✦ 公民権法第7編 性差別禁止 (1964年)
 - 差別禁止、女性が働きやすいよう優遇処置
 - ✦ 公民権法第2編 ガラスの天井法 (1991年)
 - 女性管理職の誕生を容易とするシステム構築

目的

- ✦ 米国：男女雇用均等の先進国
- ✦ 学べるところは学びたい
- ✦ まずは違いを知る
- 両国でキャリアある医師達に話を伺う

手段 1

- ✦ 参加条件
 - ✦ 現役の女性放射線治療医
 - ✦ 1995年以前に医学部卒業
 - ✦ アンケート、対面式インタビュー
の双方への協力に賛同された方

手段 2

✦ 情報の収集方法

- ✦ 25問からなるアンケート
- ✦ 対面式インタビュー

結果

- ✦ 日本人12人・米国10人
- ✦ 日本
 - ✦ 放射線治療部門のトップ8人
(4人は非アカデミック施設勤務)
 - ✦ 博士号所持者：12人
- ✦ 米国
 - ✦ 教授8人 (Chairman 経験者6人)
 - ✦ 博士号所持者：0人

結果

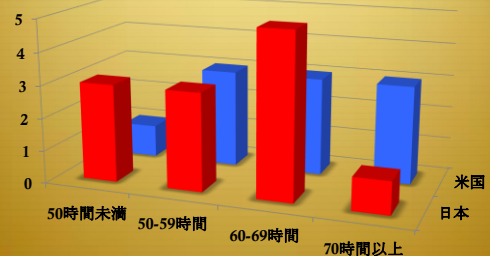
- ✦ 今回はアンケート結果のみ紹介

母集団の特徴

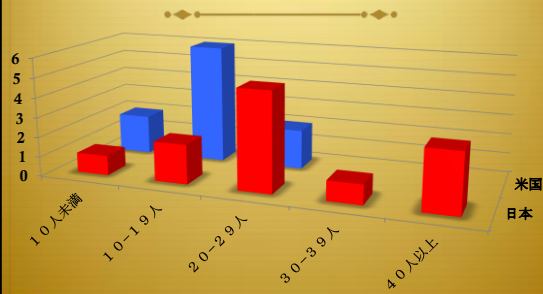
	卒業年度	既婚	子供あり	出産経験あり
日本 (12)	1986 (1975-1995)	9	10	10
米国 (10)	1984 (1968-1995)	7	8	5

労働関連の比較

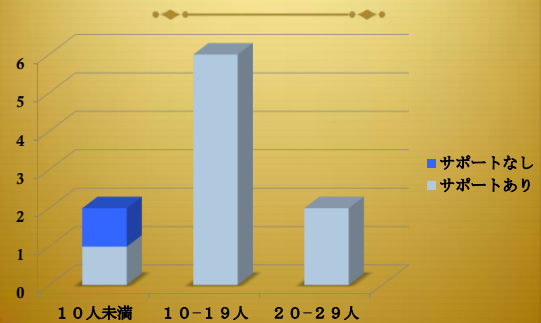
週間平均労働時間



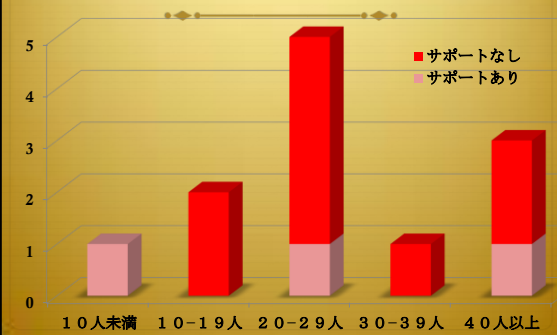
平均担当患者数



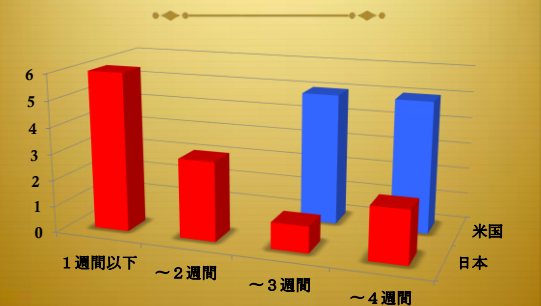
米国の平均担当患者数



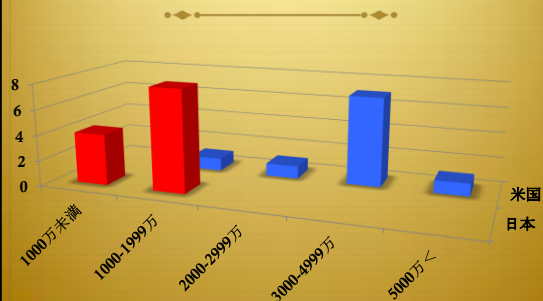
日本の平均担当患者数



休暇

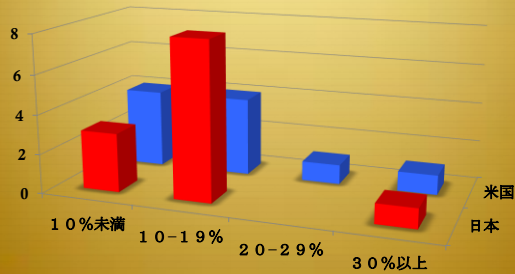


勤務先からの年収

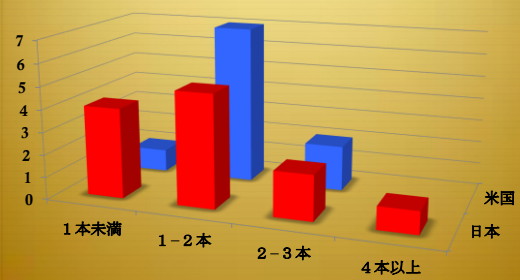


研究関連の比較

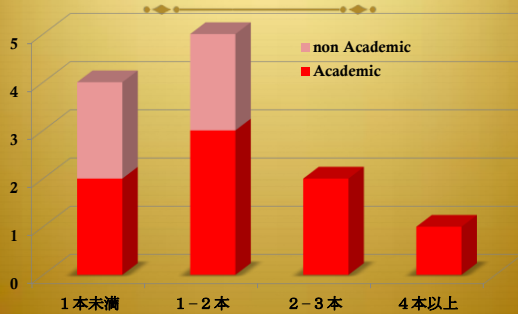
業務に占める研究の割合



平均年間論文数 (first)

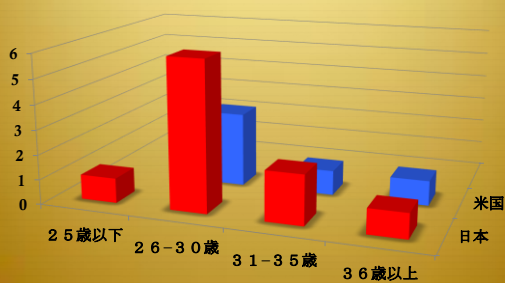


平均年間論文数 (first)

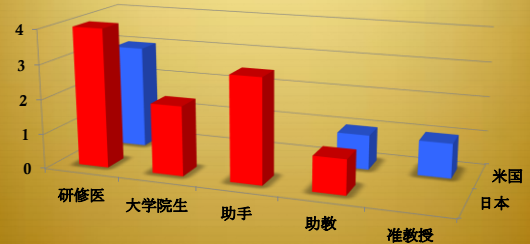


プライベートの比較

第1子出産時年齢



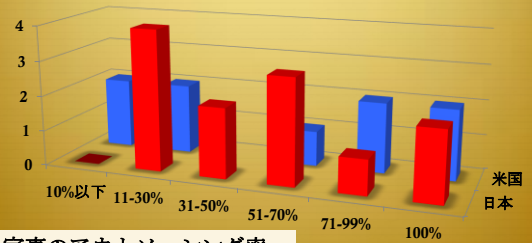
第1子出産時立場



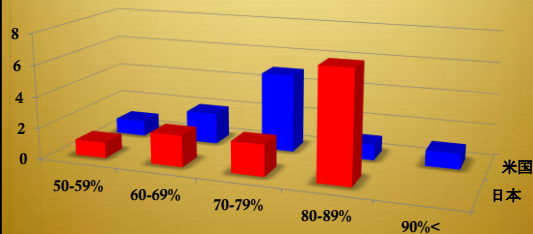
介護について

	家族に 要介護者あり	介護に関わっ ている
日本	4	3
米国	3	1

家事の分担率



仕事とプライベート 仕事占める割合



考察

✦ 米国

- ✦ 担当患者数：少ない
- ✦ 研修医によるサポート付きが普通
- ✦ 高収入
- ✦ 休暇が取りやすい
- ✦ on call体制

米国人の知恵

- ✦ 家事のアウトソーシング
- ✦ 仕事を家に持ち帰らない
 - プライベートの時間を確保

日本の状況

- ✦ 圧倒的な仕事量の多さ
- ✦ 経済的なゆとりの少なさ
 - 『米国人の知恵』は現実的か？

結論

- ✦ 日本人医師の過酷な労働環境
- ✦ 臨床・研究・教育・管理業務・家庭etc
- ✦ やらなければならないことは無数
- ✦ 労働状況改善が望めないのなら・・・
 - プラスαの知恵が必要

謝辞

ご多忙の中、インタビュー・アンケートに快く答えくださった日米の女性放射線腫瘍医の方々、

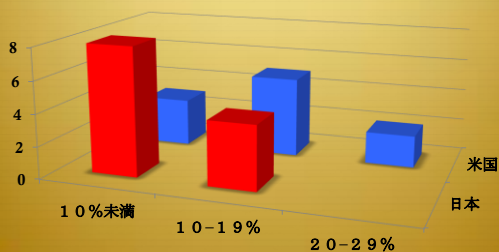
研究助成をしてくださった日本女性放射線腫瘍医の会、

この場を借りて感謝の言葉を述べたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。



業務に占める教育の割合



業務に占める管理業務の割合

